



# 丸種品種のご紹介

## 金賞 つけな 早生千筋京水菜

(ハウス周年栽培用)

### 味のよい早生豊産種

#### 特性

1. 鮮緑色の細葉で葉縁に多数の欠刻があり、葉軸は非常に白く極細で、株張り株揃いに優れ、小～中株採り(まくり菜)の周年栽培可能な早生種です。
2. 高温期の小～中株採り栽培においては播種後30日位から袋詰め出荷に適した株が収穫でき、特有の香りと歯触りの良さは格別で、煮食や浅漬け用として幅広く利用され、市場性も高い品種です。

#### 栽培のポイント

1. 作業の手間を省略するため、直播きで間引きなしの栽培を行います。
2. 周年栽培の場合ハウス等施設を利用し、冬期は被覆資材を用いて保温による生育促進を心がけ、夏期は特に換気に注意して遮光栽培を行います。
3. 年間5～6作の連作となるので、有機質の投入による土作りを心がけ連作障害を回避します。

#### 栽培管理

##### 1. 圃場の準備

肥料は元肥を中心にし、三要素各10kg/10aを基準とし、夏期は各6～8kg/10a冬期には各12～13kg/10aを目安とします。立枯病など土壌病害予防のため、定期的に土壌消毒を行うことが望ましいです。

##### 2. 播種・育苗

うね幅120～150cmで条間8～10cmを基準とします。播種はシートテープを用いて直播きします。株間は5cm間隔で1粒まきし、間引きしません。播種後十分に灌水し、寒冷紗で被覆して一斉に発芽させます。

##### 3. 収穫までの管理

早春のハウス栽培では抽苔しやすくなります。特に生育初期の低温は、花芽分化を促進させますから注意が必要です。春・秋の暖かい日はハウス内の換気を十分にを行い軟弱徒長を防ぎます。

##### 4. 収穫・出荷

草丈28cm位になれば順次収穫します。収穫後は急速に品質が低下しますので速やかに子葉・枯葉・根部を除去し調整・袋詰めを行います。この時できるだけ水洗いはしないようにします。

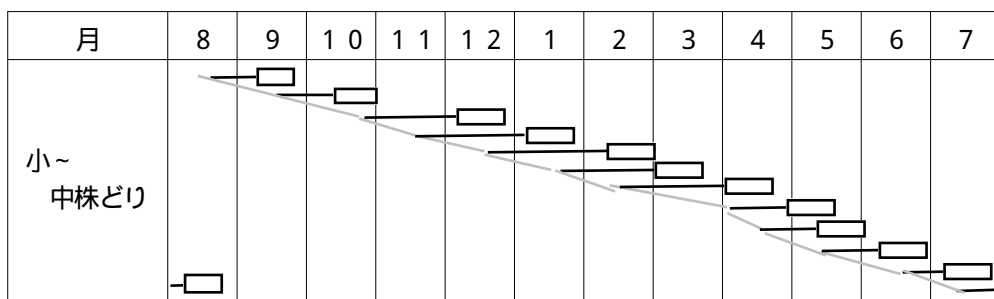
##### 5. 病虫害防除

水菜は茎葉部を食しますので、病虫害防除は生育初期の予防的散布を基本とします。小～中株採りの害虫防除には被覆資材を用いて薬散回数を少なくします。

主な病虫害：ベト病、白斑病、白さび病、軟腐病、立枯病

コナガ、カブラハバチ、クスジノミハムシ、ヨトウムシ、アブラムシ

#### 栽培表



丸種株式会社

元気な種、すくすくと。 〒600-8691 京都市下京区七条通り新町西入ル